

25 前沢川沿いから見る五人坊主



雪が溶け出す頃、南駒ヶ岳摺針窪カール上部の稜線に現れる5つの丸い雪形。「五人坊主が現れてから粉時きを始めると霜にあわずに良い苗ができる」と、昔は山の雪形を見て農作業を行っていた。

29 かやもり 栢森神社



果樹園が広がる田園地帯の中に神社が鎮座するのどかな風景。毎年春の例祭では、笛太鼓の調べにのった獅子頭の舞と、それに掛け合うように行われるおかめ踊りやきつね踊りが奉納される。

26 小和田から望む南アルプス



南アルプスと牧ヶ原橋のコントラストが美しい風景。夏は青々と茂る田んぼ、秋は黄金色に輝く稲穂が景色を彩る。23km離れた南アルプスの首座を眺めることができる、全国的に珍しい場所。

30 六万部東塚古墳



中央地区六万部の扇状地先端部に位置する、7世紀頃からの下伊那古墳文化圏を代表する円墳。昭和47(1972)年に村の指定史跡に登録され、昭和52(1977)年に発掘調査が行われた。

27 中央アルプスと田園風景



NVサウンドホールに向かう道中、西に見える雄大なアルプスと小和田地区の田園風景が美しい。紅葉の季節には鮮やかに色づいた山々を一望できる。人と自然の調和を感じる牧歌的な風景。

31 中西の桜



中央地区中村に咲く、樹齢約800年の江戸彼岸桜。昭和52(1977)年4月1日に村の記念物に指定された。徳川時代には検地の際、天竜川西岸から東の方への見通しとされたこと伝えられる。

28 米澤酒造から望む中央アルプス



明治40(1907)年に大草で名酒「今鏡」の醸造を開始した米澤酒造。その西側から望む南駒ヶ岳、空木岳、仙逝嶺など中央アルプスの山並みが美しい。

32 どんど焼き



冠雪のアルプスと青空を背景に天高くやぐらが燃え上がる小正月の代表的風景。「煙をあげると1年中まめでいられる」「書き初めの習字が燃えて高く舞い上がると字が上手になる」などといわれる。



33 東福寺からの眺望



永昌山東福寺は伊那坂東三三番札所のひとつ。明治初年に廃寺となった。春には江戸彼岸や山桜が咲き誇り、沖町・中組地区の街並みと冠雪の中央アルプスが映える。

34 南陽会館から望む中央アルプス



大中洞と大沢洞、鳳来沢の沢筋に耕地と家々が連なる南陽地区。南陽会館集会所からは中央アルプスが一望できる。起伏に富んだ山並みが美しい、地区住民の癒やしの景色。

35 共同墓地の石仏群



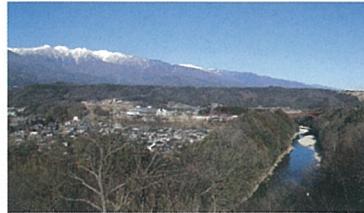
高遠の名石工守屋貞治が200年ほど前に彫った2体の地藏菩薩像が立ち並び、風情あふれる田島地区新井の風景。墓地の奥には元禄時代に彫られた田島地区で最古の石碑が立つ。

36 牧ヶ原から望む中央アルプス



南駒ヶ岳、赤穂岳、空木岳の山並みを正面に見据える壮大な眺め。四季を通して刻々と表情を変える中央アルプスが美しい。朝焼け、夕焼けが特にきれい。

37 石神から望む牧ヶ原



天竜川の洪水と釜淵の水神にまつわる伝説の地から望む牧ヶ原の営みの風景。中央アルプスや蛇行する天竜川も一望できる。公園西にある石神の樹は樹齢350年以上ともいわれる。

38 常泉寺六地藏



500年以上前に開基されたと伝えられる名刹。伊那七福神のひとり大黒尊天が祀られる。寺の入口には昭和45(1970)年に桑原地区東山から移転建立された2組の六地藏が並び。

39 ぶどう園と中央アルプス



一面のぶどう畑と中央アルプスの遠望が美しい景色。かつては荒廃農園と無作付農地が広がっていたが、平成5(1993)年に団地化が計画され、ぶどうの苗木が植えられた。秋にはぶどう狩り客で賑わう。

40 中田島から望む陣馬形山



四季や天候、気象条件によってさまざまに表情を変える陣馬形山の雄大な眺め。昔は「陣馬形山に雨が降り出すとどこまで雨が降る」と日々の天候の予兆としても使われた。

お問い合わせ先

〒399-3892 長野県上伊那郡中川村大草 4045-1

中川村役場総務課 むらづくり係

TEL 0265-88-3001 (代)

E-mail kikaku@vill.nagano-nakagawa.lg.jp

中川村発足60周年・「日本で最も美しい村」連合加盟10周年記念

美しい村なかがわ36景 発行/平成31(2019)年2月

平成30年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業

